

目次 Contents

- 02 今月の焦点
まちを守る消防団
- 05 るーぶらざが10周年を迎えます
- 06 情報 PICK UP
・ぐるっとまちじゅう博物館
・観心寺・奥河内の灯里
・こども文化財解説
- 07 文化の日に晴れの受賞
- 08 市政と関連情報 モックル生活ガイド
人権08、安全安心08、教育・文化09、子育て10、健康12、就労13、フォト13・19、高齢者14、障がい者14、保険・年金18、暮らし19、税金20、事業所20、自治会20
- 09 市長に聞きました
- 16 フォトニュースかわちながの
- 17 ふるさとの情景 ⑫長野地区
- 21 コラム
・はいこちら教育相談センターです
・商品やサービスについての苦情や相談は消費生活センターへ
- 22 情報プラザ
お知らせ22、講演・講座23、展示・催し26、スポーツ30、募集30、相談31
- 32 かわちながの ものづくり探訪 ⑫
門林栗園

●掲載情報の見方

対象に明記のないものは市内在住・在学・在勤者が対象▶催しなどで費用の記載のないものは無料▶申し込みが必要な催しなどの持ち物は主催者からの連絡などで確認を▶先着順の申し込みで時間の記載のないものは午前9時から受付▶申し込み・問い合わせなどで住所・電話番号の記載がないものは市役所へ(業務日・時間は月～金曜日午前9時～午後5時30分、祝休日・年末年始を除く)
 ●環境への配慮から、催しなどへの来場はできるだけ公共交通機関のご利用を。

くろまる塾・くろまるキッズの認定講座や催しはこのマーク
 今後の予定など詳しくは市ホームページをご覧ください。

●市の人口・世帯数 9月30日現在(カッコ内は前月比)

人口	男	女	世帯数
107,476(-82)	50,921(-29)	56,555(-53)	47,412(+11)

市役所：河内長野市原町一丁目1番1号
 ※郵送の場合は〒586-8501(住所不要)
 ☎53-1111(代表)



●今月の焦点 まちを守る消防団
出動！
頼れるまちの
サポーター



これからの季節、空気が乾燥し、火災が起りやすくなります。火災を防ぐためには、地域全体での取り組みが大切です。消防団は、地域の消防・防災のリーダーとして、火災などの際に消防署と協力して消防活動を行う機関です。そこで、地域の安全・安心を守る消防団の組織や活動、団員たちの熱い思いを紹介します。

問い合わせ 消防総務課 ☎53・0066

消防団って？

消防団のルーツは、江戸時代の火消(ひけし)です。火事が起こると、鳶職(とび)の人たちが火消に早変わりして地域を守りました。本市でも明治後期には、旧長野村や旧三日市村に自主的な消防組織があり、昭和23年の消防組織法施行と同時に、各町村に消防団が結成されました。

現在、本市の消防団には10分団244名の団員が在籍し、消防ポンプ車12台をはじめとした機械装備は府内でも有数の規模です。火災や風水害などの災害時に出動し、災害現場で消防署と協力して消火活動などにあたっています。

まちを守るボランティア

消防団員は、非常勤特別職の地方公務員ですが、普段はそれぞれの仕事をしながら、いざという時に火災や災害の現場に駆けつけ、活動に従事します。



各分団の屯所から出動

火災発生いざ出動

現在、団員の平均年齢は48歳。50代以上が4割以上を占め、高齢化が進んでいます。かつて、団員の多くは自営業や農林業でしたが、近年、6割近くが企業などに勤める被雇用者となり、勤務中の緊急出動が困難になりつつあります。

消防署に火災などの緊急通報があると、すぐにその地域の消防団員の携帯電話に通知メールが送られます。通知を受けた消防団員は、自宅や職場から現地へ駆けつけ、消防隊員と協力しながら、日ごろの訓練を生かした消火・救助活動を行います。また、火災以外にも台風や大雨などで出動し、警戒巡視や避難誘導にあたります。

技術を磨く

消防団は、チームワークが大切です。もちろん個人の技術や体力も重要ですが、チーム全員が声をかけ合いながら連携することで効果的な消防活動に結び付きます。そこで、災害現場でスムーズに活動できるよう、平常時には消火訓練や水防訓練、応急手当の普及指導な



機械部員の研修の様子

ど様々な訓練を行っています。また、消防技術の向上のため、全国の消防団が競う消防操法大会にも出場しており、来年は、第7分団がポンプ操法で出場する予定です。

知ってた？ 消防団員の「防火服」

防火服は、現場外套とも呼ばれ、火災現場などで着用します。3層構造で、炎に近づける耐熱性と、すぐに燃えない難燃性を持っていきます。また、蛍光色のラインが光に反射するので、夜間の活動にも適しています。



家族と地域を守りたい

河内長野市消防団第4分団 土井健司さん

入団5年目。正直、入団前は消防団の活動をほとんど知らなかったのですが、自分の住む地域の支えにと決意しました。消防団には若者からシニアまで幅広い年代が活躍しています。まだ経験が浅く、先輩団員に支えられていますが、訓練を重ね、家族やだんじり仲間が暮らす高向を守りたいと思います。実は、結婚して1年目。先日、台風で出動する際に、自宅で待つ妻は不安な思いを口にしていたのですが、自分たちが住む地域のためと理解してくれたようです。たいてい休日に訓練があるので、家族の理解と応援のおかげで、自分の役割を果たせています。



あなたの力を 消防団に



まちの安全・安心のために
一緒に活動していただける
団員を募集しています。

資格 市内在住か在勤で18歳以上
※活動服や防火服が貸与されます。
消防総務課 (☎53-0066)

■消防団の組織

団本部	団長・副団長
第1分団	野作班、上原班
第2分団	天野班
第3分団	千代田班、松ヶ丘班
第4分団	高向班、日野班
第5分団	北三日市班、南三日市班
第6分団	加賀田班
第7分団	天見班、岩瀬班
第8分団	寺元班、石見川班
第9分団	滝畑班
第10分団	小山田班

消防団の主な活動

- ▶**出初式(1月)**
毎年1月第2日曜日に、赤峰市民広場で開催しています(写真①)
- ▶**文化財防火デー合同訓練(1月)**
文化財を火災から守るため、消防署と消防団が合同訓練を実施しています
- ▶**規律訓練(4月)**
新しく入団した団員などが整列方法や器具の取扱などを訓練しています
- ▶**基礎教養訓練(5・6月)**
大阪府立消防学校にて消火、救急および救助訓練を実施しています(写真②)
- ▶**支部総合訓練(8月)**
南河内の消防団が集まり、規律訓練やポンプ操法を披露しています
- ▶**消防大会(9月)**
大阪府内の消防団が集まるポンプ操法大会に出場しています(写真③)
- ▶**地域防災訓練(11月)**
消防団は、防災に関する体験コーナーを担当しています(写真④)
- ▶**歳末特別警戒(12月)**
12月25～30日の夜間、各屯所を拠点に市内全域を巡回し、警戒にあたっています。



るーぷらざが 10周年を迎えます



市民公益活動支援センター「るーぷらざ」は、11月29日でセンター開設10周年を迎えることになりました。

10周年記念のイベントとして、「団体交流会」と「るーぷらざまつり」を開催しますので、ぜひご参加ください。

問い合わせ るーぷらざ (☎53・8100)

るーぷらざについて

るーぷらざは、市民公益活動に関する情報提供や人材の育成、相談・助言などを通じて、活動の支援をするとともに、市民公益活動団体や市民・自治会・企業・行政などをつなぎ、交流や協働を促進しています。また、新たな市民公益活動団体の立ち上げ支援も行っています。

■ワークスペースとミーティングスペースの提供

資料などを作成するためのワークスペースや、急な打ち合わせや簡単なミーティングに利用できるオープンスペースの提供を行っています。

■ボランティアマッチングシステム

「ボランティアをしてほしい」と思っている施設・学校・自治会などの団体と「ボランティア活動をします」というボランティア団体とのマッチングをしています。

想いをつなぐマッチング

小山田地域福祉委員会(平成26・27年度)の西端良子さん



左からアンサンブル 森のかっこう(藪内さん、原田さん、池田さん、林さん)と西端さん

福祉委員会の委員になり、初めての地域福祉のイベント企画を検討していた時に、たまたま広報紙で「るーぷらざ」の記事を見つけました。ボランティア団体さんにお手伝いいただきたく「るーぷらざ」に相談に行き、多くのボランティア団体の中から、器楽合奏をされている「アンサンブル森のかっこう」さんを紹介していただきました。事前に三者打合せをしていただき、代表の原田さんのお人柄が分かり安心してお願いすることができました。当日は、15曲を参加者の方々と一緒に合唱し、とても楽しい時間となりました。

アンサンブル 森のかっこうのみなさん

「るーぷらざ」発行のガイドブックを見て集まったメンバーで活動しています。事前打合せでは、依頼者の西端さんとも打ち解けて話し合いが進み、充実したプログラムができあがりました。マンネリ化していた活動に新風を吹き込むヒントをいただき、人前で弾くことはメンバーの刺激になり、演奏技術が磨くうえでとても効果があります。また、この様な機会を通じて活動の場が広がり、新たな出会いやつながりにも恵まれたことをとても感謝しています。

10周年記念イベント

●団体交流会

ボランティア・市民活動団体が集まります。ネットワークを広げてみませんか。
対象 自治会やその他団体で公益活動をしている人
とき 11月20日(月)午後1時～4時
ところ るーぷらざ
定員 40人(先着順)
参加費 100円
申し込み 11月5日～15日にるーぷらざへ

●るーぷらざまつり

とき 12月2日(土)午後1時～4時
ところ るーぷらざ
内容 災害時のかまどの作り方、まき割り体験、非常食イザメシ体験など
※当日直接会場へ。



市民公益活動支援センター るーぷらざ
昭栄町8-12 ☎53-8100 FAX 53-8030
午前9時～午後9時(土日祝は午後5時30分まで)▷火曜日と年末年始は休館
<http://looplaza.moo.jp>



火の用心 ことばを形に 習慣に

11月9日～15日は秋の全国火災予防運動

住宅防火で命を守る7つのポイント

- 3つの習慣** ▶寝たばこは絶対やめる ▶ストーブに燃えやすい物を近づけない ▶ガスコンロなどのそばを離れる時は、必ず火を消す
- 4つの対策** ▶逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する ▶寝具や衣類、カーテンなどは防災品を使用する ▶住宅用消火器などを設置し定期的に点検する ▶高齢者や身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制を作る

不審火を防ぐポイント

- ▶家の周りを整理する ▶空き家や物置には鍵をかける ▶ごみは夜に出さず、決められた日の朝に所定の場所へ出す ▶門灯などで戸外を明るくする ▶空き地は枯れ草を刈り取るなどきちんと管理する▶外出時は近所の人に声をかける ▶地域で防火対策を徹底する
- 消防本部予防課 (☎53-3699)



文化の日に晴れの受賞

平成29年度の市長表彰の受賞者がこのほど決まりました。晴れの受賞者は次のみなさんです（氏名・団体名は50音順）。なお、表彰式は、11月3日(祝)午前10時からキックスで開催します。

問い合わせ 秘書課

市長表彰

市長表彰は、長年にわたり市政の各分野で活躍もしくはその功績が顕著であった個人や団体の中から、市長表彰規程に基づき表彰するものです。

●個人の部

- 青木忠信さん（木戸）
住みよいまちづくりに貢献
- 井村亮一さん（栄町）
安全・安心のまちづくりに貢献
- 上野修二さん（天野町）
魅力発信と観光振興に貢献

大西正一さん（北青葉台）
青少年の健全育成に貢献

角野竹次郎さん（千代田南町）
高齢者福祉の向上に貢献

河原純子さん（北青葉台）
社会教育の推進に貢献

北浦皓次さん（本町）
安全・安心のまちづくりに貢献

小林雄一さん（美加の台）
地域保健医療の充実に貢献

阪本知津子さん（神方丘）
高齢者福祉の向上に貢献

須田昌良さん（木戸）
消防行政の推進に貢献

田島隆さん（旭ヶ丘）
青少年の健全育成に貢献

中野克也さん（北青葉台）
市内の商工業の発展に貢献

中野一さん（高向）
地域福祉の向上に貢献

西田光典さん（緑ヶ丘中町）
安全・安心のまちづくりに貢献

廣口恵一さん（西之山町）
市民の文化振興に貢献

南太一郎さん（高向）
消防行政の推進に貢献

山本淑子さん（南花台）
社会教育の推進に貢献

山本依子さん（南花台）
福祉行政の推進に貢献

湯川勝さん（南青葉台）
地域福祉の向上に貢献

吉田妙子さん（美加の台）
地域福祉の向上に貢献

●団体の部

- アドプト・ロード・楠町東
地域の環境美化に貢献
- 天見地区福祉委員会
地域福祉の向上に貢献
- アメニティ長野自主防災組織
安全・安心のまちづくりに貢献
- 河内長野川柳協会
市民の文化振興に貢献
- 特定非営利活動法人
長野総合スポーツクラブ
市民のスポーツ振興に貢献
- 野作町自治会自主防災組織
安全・安心のまちづくりに貢献



情報 PICK UP

ぐるっとまちじゅう博物館 ～中世の荘園が息づく流谷・下天見～

問い合わせ ふるさと文化財課

市教育委員会では、毎年文化財の現地公開イベントを開催しています。今年は柵田や古民家、里山などがおりなす歴史的景観が今も残る流谷・下天見地区にスポットを当てます。

とき 11月11日(土)午前10時～午後5時、12日(日)午前10時～午後3時
内容 スタンプラリー、祭礼や歴史的景観を紹介するパネル展示、風景撮影用フォトパネルなど

■天見小学校児童による歴史学習発表会
とき 11月11日(土)午後0時55分～2時55分▽入場は午後2時45分まで
ところ 天見小学校

■柵田イルミネーション
とき 11月11日(土)午後5時～7時
ところ 八幡神社付近
内容 あぜ道にキャンドルを灯してコンサート

■石垣修復体験
とき 11月12日(日)午前10時～正午
ところ 流谷
内容 伝統的な石積み技術で修復申し込み 11月5日～電話でふるさと文化財課へ
※石垣修復体験を除き、当日直接会場へ。



こども文化財解説

川上小学校6年生児童が観心寺、延命寺の歴史について解説します。

とき 11月16日(木)午前10時～11時45分

ところ 観心寺・延命寺

※当日直接境内へ。

関ふるさと文化財課



観心寺・奥河内の灯里 ～文化財ライトアップ～

とき 11月25日(土)・26日(日)▷
ライトアップの時間は午後5時～8時30分（荒天中止）

ところ 観心寺

内容 南北朝時代をイメージしたライトアップショーやステージライブ、物産販売など
※入山料が必要▷午後4時30分から三日市町駅東～観心寺臨時バス停間で、無料シャトルバスを運行。

関観光協会事務局
(産業観光課内)





子育て

子ども・子育て総合センターあいつくの催し

- ※場所の記載のないものは、あいつく(ノバティながの北館内)で開催します。
1ひとり親家庭の情報交換会
2おでかけわくわく広場
3双子育児中ママの交流会
4みなんであそぼ
5ねずみちゃんのおはなし会
6親子の絆づくりプログラム
7トコトコまで交流会
8育児講座「子どもの目のナゼ?ナニ?相談室」

を楽しみましょう。
対象 平成27年4月1日までに生まれた市内在住の未就園の子どもとその保護者
とき 11月21日(火)午前10時30分〜正午

の保護者
とき 11月28日(火)午前10時30分〜11時30分
対象 市内在住の子育て中の保護者
とき 11月24日(金)午前10時30分〜11時30分

★地域の子育て広場★

就学前の子どもと保護者が集まり、自由に遊んだり交流したりする場所です。会場や時間、内容など詳しくは問い合わせを。

●子育てわいわいルーム

Table with 3 columns: 場所, 開催日, 問い合わせ. Includes 三田市公民館 and 南花台公民館.

※時間は午前10時30分〜正午▷駐車場には限りがあります。

●つどいの広場

Table with 2 columns: 場所, 開催日. Includes ①ふあんふあーれ三田市 and ②ほのぼのルーム大矢船.

※この他にも福祉委員会・自治会主催の遊びの広場を各地域で開催しています。詳しくはあいつく(☎50-4664)へ問い合わせを。

いっしょに遊ぼう

0〜2歳児向けの絵本(約300冊)を、自由に手にとって楽しめます(貸出可)。
とき 11月6日(月)・20日(月)・27日(月)・12月4日(月)・18日(月)・25日(月)午前10時〜午後4時

とき・ところ 11月24日(金)午後1時30分〜2時30分
子ども・子育て総合センターあいつく、12月21日(木)午前10時〜11時30分
持ち物 子ども用歯ブラシ
当日直接会場へ
図書館(☎55・0301)

すくすく歯科相談

歯科衛生士が乳幼児期の歯科相談に応じます。

新生児聴覚検査を受けましょう

生まれつき耳の聞こえにくい子どもは1000人におよそ

児童虐待防止推進月間

映画「うまれる」の上映と参加者交流会を開催します。
とき 11月16日(木)午後1時〜4時
会場 キックス
定員 200人(先着順)
申し込み 11月6日から電話で子ども子育て課へ▽子ども子育て課

☎55・0301

離乳食・幼児食相談会

1〜2人いるといわれています。新生児聴覚検査で、生まれて間もない赤ちゃんの耳の聞こえにくさを早期に把握し適切に対応することで、ことばの発達や、より良いコミュニケーションの獲得につながります。
日時 11月17日(金)、12月15日(金)午前9時40分〜
場所 乳幼児健診センター(フォレスト三日市内)
定員 各6人(先着順)
申し込み 電話で保健センターへ
☎55・0301



新年度の保育所・認定こども園(2・3号)入所(転所)のお知らせ

対象 保育の必要な事由に該当する家庭で、来年4月から保育所・認定こども園(2・3号)へ児童の入所(転所)を希望する人

※保育の必要な事由とは、児童の保護者が次のいずれかに該当し児童を保育できない家庭のことです。▷月に64時間以上労働している(週4日以上かつ1日4時間以上かつ月16日以上)▷妊娠中または出産後間がない▷病気やけが、または障がいがある▷同居や長期入院中などの親族を常時介護・看護している▷災害復旧にあたっている▷求職活動を継続的に行っている▷就学しているなど

■入所説明会

とき 11月11日(土)午前9時〜午後5時(受付順に個別説明)
ところ 市役所

内容 申し込み手続き、必要書類の説明と申込書などの配布
※当日以降も子ども子育て課で同様の説明と書類配布を行います。

※来年4月以降も継続して在所する児童(2・3号)の兄弟姉妹の入所と転所希望の場合は説明会への参加は不要です。

■入所(転所)受付

とき 第1回=11月25日(土)・26日(日)午前9時〜午後5時、第2回=11月27日(月)〜2月16日(金)、第3回=2月19日(月)〜3月14日(木)▷第2・3回の時間はいずれも午前9時〜午後5時30分(土・日・祝休日・年末年始を除く)
申し込み 必要書類を持って市役所へ▷第1回は子ども同伴でお越しを(平成29年4月2日以降生まれと転所の人を除く)

主な提出書類 ①給付費支給認定申請書、②保育利用(転所)申込書、③保育を必要とする事由の証明および申告書、④新規利用申込児童問診票、⑤確認票など▷①〜⑤の用紙は子ども子育て課と各保育・認定こども園にあります

空き枠状況情報提供期間 第1回=11月11日〜26日、第2回=1月15日〜2月16日、第3回=2月28日〜3月14日

子ども子育て課

平成30年4月からの施設区分(予定)

Table with 4 columns: 区分, 施設名, 所在地, 電話番号. Lists various childcare facilities like 千代田台保育所, 汐の宮保育園, etc.

☆=保育所・保育園、♡=認定こども園(幼保連携型)、◇=認定こども園(幼稚園型)、○=認定こども園(保育所型)
※平成30年から認定こども園移行



高齢者

お手軽元気アッププラス教室

自宅や集会所などの身近な場所ではじめてみませんか？
対象 週1回の体操のつどいを継続開催できる65歳以上の住民3人以上のグループ
内容 モックル介護予防体操、元気アップエクササイズのDVDを使った理学療法士・保健師による体操指導や体力測定
 ※その他利用条件など詳しくはいきいき高齢・福祉課へ。
問い合わせ 高齢・福祉課

介護サロン

■簡単！針と糸を使わずに、ポーチ作りでリフレッシュ
対象 家族を介護している市民
とき 11月21日(火)午後1時30分～3時30分
ところ 千代田公民館
申し込み 問い合わせ 西部地域包括支援センター(☎56・6600)



福祉センターまつり

とき 11月25日(土)午前9時～午後3時
ところ 福祉センター錦溪苑
内容 舞台発表、作品展示、障がい者作業所の販売、模擬店
福祉センター錦溪苑
 (☎65・0123)

高齢者の家事援助の担い手養成研修

対象 訪問型サービスA事業(要支援認定者や虚弱な高齢者などを対象に自宅を訪問して掃除や調理などの家事援助を行うサービス)に従事することを希望する市民、または市内で総合事業を実施する事業所に従事している人
とき 11月28日(火)・29日(水)・11月30日(木)午前10時～午後4時
▽28日は午前9時45分開始
ところ 市役所
定員 30人(先着順)▽3日間出席できる人のみ
教材費 1404円(税込)
申し込み 11月6日～11月20日に電話で社会福祉協議会へ
福祉協議会
 (☎64・9000、FAX 64・0222)

認知症サポーター対象の講座や集い

■ステップアップ講座
とき 11月28日(火)午後1時～4時
ところ キックス
内容 認知症を悪化させないポイントや認知症の人のコミュニケーション方法など
定員 50人(先着順)
 ■認知症サポーターの集い
とき 12月8日(金)午後1時30分～3時30分
ところ 市役所
内容 認知症サポーターの役割や活動状況など
定員 30人(先着順)
申し込み いずれも11月6日から電話でいきいき高齢・福祉課へ
問い合わせ 高齢・福祉課

おれんじカフェ「ぶくらう」

とき 毎月第1水曜日の午後1時30分～4時
▽1月のみ第2水曜日 出入り自由
ところ 図書館
内容 認知症の人の対応方法、ストレス解消法、情報交換など
問い合わせ 高齢・福祉課
 福祉課



高齢者の障がい者控除対象者認定書の申請を

身体障がい者手帳などを持っていない人でも、所得税や市・府民税の障がい者控除が適用される場合があります。
対象 65歳以上で要介護認定を受けた寝たきりや認知症の人
申し込み 介護保険課で同認定書の交付申請を(印鑑が必要)
 ※身体障がい者手帳などの所持者は認定書がなくても手帳の提示で控除が受けられます。
福祉課

障がい者

手話通訳者・要約筆記者の派遣

府と市では、聴覚障がいのある人に、手話通訳者・要約筆記者を派遣しています。
 ■特に専門性が高いと認められる場合(複数要件あり)
申し込み ①手話通訳Ⅱ大阪聴力障害者協会(☎06・6761・1394、FAX 06・6768・3833)へ、②要約筆記Ⅱ大阪府中途失聴・難聴者協会(☎FAX 072・998・2907)へ▼メールも可
 ■右記以外で公的機関や医療機関に出かける場合
申し込み 事前に障がい福祉課へ相談のうえご利用を
福祉課

もの忘れ相談会

相談のほかタッチパネルで脳の認知機能測定も行います。
とき 11月29日(水)午後1時30分～4時30分(相談は一人45分程度)
ところ 保健センター
定員 15人(先着順)
申し込み 11月6日から電話でいきいき高齢・福祉課へ
問い合わせ 高齢・福祉課

障がい者福祉センターあかみねの催し

①視覚障がい者サロン「モックル介護予防体操をやってみよう」
対象 視覚障がい者、目が見えにくく不安に感じている市民
とき 11月16日(木)午後1時30分～3時

定員 10人(先着順)

②あかみね防災・避難訓練
とき 11月28日(火)午前10時30分～午後2時
内容 防災・避難に必要な講話、炊き出し体験、交流会など
定員 50人(先着順)
 ③電車で行こう～奈良公園と奈良町散策～
対象 障がい者手帳を所持する市民と介護者▽ペアで参加を
とき 11月30日(木)午前9時～午後5時30分
定員 5組(抽選)

※交通費、食費などが必要。

ところ ①②障がい者福祉センターあかみね、③河内長野駅改札前に集合し電車で移動
申し込み ①11月9日、②③11月20日までに同センターへ
障がい者福祉センターあかみね(☎56・1590、FAX 56・1592)

障がい者作品展の作品募集

対象 障がい者手帳を所持する市民
とき 12月5日(火)～7日(木)午前9時～午後5時30分(7日は午後3時まで)
ところ 市役所

インタビュー

療育支援を「ご存知ですか

人の話をささげる、集中力が持続しない、夢中になると周りが目に入らない、数字に執着する…。これらは自閉症やアスペルガー症候群など、発達



障がいの特性の一つです。子どもたちは、早くから療育支援を受けることで、脳の特性とうまく付き合えるようになり、自信にもつながります。

市の花「菊」の英訳から名付けた「mum(ママ)」では、市の委託を受け、1年間を通じて概ね隔週1時間、子どもの特性に応じた療育支援を行っています。子どもたちは、きっかけさえあれば、自分自身が持つ力を引き出し、一歩また一歩と、成長していきます。そんなきっかけを発見できるとき、何よりうれしく、大きな可能性を感じます。保護者の方と一緒に、家庭などでの関わり方を考えながら、日々の喜びを共有していきたいです。

市の花「菊」の英訳から名付けた「mum(ママ)」では、市の委託を受け、1年間を通じて概ね隔週1時間、子どもの特性に応じた療育支援を行っています。子どもたちは、きっかけさえあれば、自分自身が持つ力を引き出し、一歩また一歩と、成長していきます。そんなきっかけを発見できるとき、何よりうれしく、大きな可能性を感じます。保護者の方と一緒に、家庭などでの関わり方を考えながら、日々の喜びを共有していきたいです。



こども発達支援センターmum
 上溝由希奈さん

こども発達支援センターmumの利用児を募集

内容 発達障がいの特性に合わせた療育支援プログラム
対象 市内在住で小学4年生までの子どもとその保護者(同センターまで一緒に通所が必要です)
定員 50人(抽選)
申し込み 11月13日～12月13日に同センターへ郵送か持参
 ※募集説明会を、11月18日(土)午後1時30分～2時30分＝三日市市民ホールで、12月6日(水)午前10時15分～11時15分＝同センター(中片添町11-9)で実施。
福祉課



現 在では参加者の減少や世代交代なども変化しています。従来は決まった家が務めていたトウヤも、現在は神社の奉賛会と宝恵会の会員のみなどで務めています。一方で松明の作製方法は昔から伝えられており、うるう年は作製方法が少し異なるなど、行事の古さがうかがえる部分も残っています。このようにタイマツタテは、変化を受け入れつつも伝統を守りながら受け継がれています。

伝えたい
残したい
わがまちの
誇り



ふるさとの 情景

VOLUME
12

長野地区
(長野神社のタイマツタテ)



1 点火され燃えあがる松明
2 松明に巻く割竹を編む作業
3 葉のついた雑木を割竹に巻く作業
4 点火の前に行われる湯立神楽の様子

※長野神社へは河内長野駅から徒歩約2分。



ふるさとのひと
北野賢式さん
私の祖父の時代よりずっと前からあったタイマツタテ神事。毎年10月1日に神社の氏子を中心に力を合わせて巨大な松明を作っています。今は重機の力を借りていますが、昔は人の力だけで持ち上げ、手押し車に乗せて周辺を練り歩きました。この伝統行事があるおかげで、地域のつながりも深まっています。長野神社責任総代として、今後もタイマツタテ神事を大切に守り続けねばと思います。



フォトニュースかわちながの Photo news

まちの話題をお届けします

自転車を通じて2日間を楽しむ 奥河内 Boon!

9月23日～24日の2日間、プラザ阪下で奥河内 Boon! が開催されました。会場では小学生から大人まで幅広い年齢層が参加したレースや夜間を走るムーンライトレースなど多岐に渡り、白熱したレースが繰り広げられました。また、飲食店や地元企業の出店、音楽コンサートがあったほか、キャンプサイトも設けられ、多くの方が自転車を通じて楽しみました。なお、2日目の午前中にはモトクロスで活躍中の阿久根芳人さんのデモ走行もあり、会場は大いに盛り上がりました。



いきいき笑顔で元気ハツラツ いきいき長寿スポーツ大会

10月11日、市民総合体育館でいきいき長寿スポーツ大会が開催され、60歳以上の321人が参加しました。この大会は、高齢者の健康づくりや交流を目的に開催。参加者は市民体操で体をほぐした後、卓球の要領で得点が書かれた箱にピンポン球を入れる「目指せ卓球王国」や玉入れなど様々な競技に挑戦し、さわやかな汗を流しました。また、千代田短期大学の学生ボランティアたちが、参加者と一緒に会場を盛り上げました。



「おおさか河内材」で作った ベンチが寄贈されました

大阪府森林組合南河内支店より、地元材である「おおさか河内材」で製作したベンチが寄贈されました。このベンチは音楽家である坂本龍一氏が東京で開催した「設置音楽展」でインテリアとして実際に使用されたものです。市役所1階駐車場側入口横に設置していますので、座ってみてください。